

第1回いしかわの森づくり検討委員会要旨

- 1 日時 平成16年6月4日(金) 13:30~15:00
- 2 場所 県庁行政庁舎1110会議室
- 3 出席状況 出席委員10名(全委員13名)
- 4 議事概要
 - (1) 委員の互選により石川県農業短期大学の丸山利輔学長を委員長に選任
 - (2) 事務局から森林の現状等について資料説明の後、意見交換
- 5 主な発言内容
 - (1) 森林整備
 - ・ 将来の飲料水を確保するためには、森林を守ることが必要。
 - ・ 間伐などの森林整備への支援を、全県的に協力してもらう体制が望まれる。
 - ・ 木材価格の低下や作業員の高齢化、特に能登地方では平成3年の台風被害による影響から所有者の経営意欲が低下しており、森林整備を進める上で援助が必要。
 - ・ 木材価格の低下、外材との競争の中で林業は極めて厳しい状況にあるが、森林整備は非常に重要であり、何ができるか考えることが必要。
 - ・ 森づくりをしていくための財源をどうするかが、一番の問題。
 - ・ 森づくりが自分の問題であることを普及啓蒙したり、民間でやれる取組の活性化を行うことが必要。
 - (2) 県産材の活用
 - ・ 外材が原因で林業の採算性が悪化している。県産材をどんどん使えば森林所有者も元気が出るし、森林に活力が戻る。
 - ・ 木造の大型建築物は規制されており、その見直しが必要。
 - ・ 森林の窮地を救うために、木をもっと使うことが必要。
 - ・ 木材の消費をしながら、森林を育てていくことが大事。
 - (3) その他
 - ・ 山を管理する人がいなくなっていく中で、共同管理のシステムを検討してはどうか。
 - ・ 中学校などで森林に関する勉強を意識的に行うことが必要。